

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立静岡聾学校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	22名

1. 使用状況

寄贈物品名	卓球台
使用学年及び人数	中学部 1年生:2名、3年生:5名
使用頻度	週2回 中学部部活動にて使用
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ラリーやサーブ、練習試合の際に使用している。 ・片方の面を上げて壁打ちを行っている。 ・準備や片付けの際には、1人で運ぶことができる。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・片方の面を上げて壁当てのような形を作ることができるため、一人でも繰り返し打ち続けることができ、フォームの確認をすることができた。 ・素材が軽くなったため、準備や片付けの際に一人で簡単に運ぶことができるため、安全性が上がった。 ・面を2つに分けることが可能なため、台の高さのバランスを調整しやすくなった。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで使っていた台は支柱の部分が少し曲がってしまい、台が水平ではなかったため、打っている最中にバウンドが変わり打球に違和感を感じることがあったが、台を新しくすることで高さのバランスを調節することができ、台が水平になっている状態で打つことができるようになった。 ・台が軽くなったことにより、準備や片付けをスムーズに行うことができたり、台に指を挟んでしまう危険性が減ったりした。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子

・新しい卓球台を使ってのラリーや試合



・台を折りたたみ二つに分けて運ぶことができる。

